

第6学年 体育科学習指導案

日時 平成15年12月 2日(火) 5校時
場所 体育館
学級 6年2組 男子13名,女子14名 計27名
指導者 岡田 政志

1 単元名 自分のめあてに向かって (器械運動「マット運動」)

2 単元について

(1) 教材観

マット運動では、「主として回転系や倒立系の技の中から自己の能力に適した技に易しい支援の下で新たに取り組んだり、それらの技がある程度正確にできるようにしたりするとともに、同じ技を繰り返したり、技を組み合わせたりする」ことを目標としている。

また、運動の特性としては、できる技をさらに上手にできるようにし、場合によっては、それらをもとに集団で取り組んだり、できそうな技に挑戦したりすることを楽しみがある。

《技の分類》

回 転 系			倒 立 系
前転その発展技	後転とその発展系	側方倒立回転とその発展技	首倒立、頭倒立 倒立(補助をして)
開脚前転、跳び前転、伸膝前転、倒立前転など	開脚後転、伸膝後転など	ロンダードなど	

(2) 児童観

学級の児童は、記録やできばえを向上させようと熱心に練習に励むなど、体育の学習に意欲的に取り組んでいる。また、授業の準備や後始末も、みんなで協力し合っている。業間時間や昼休みには、元気に外で遊んでいる様子がよく見られ、全体的には運動好きである。

しかし、学級の運動能力は、スポーツテストや普段の学習の様子から判断して、決して高いとは言えない。また、中には、運動嫌いな児童や体型的な面から運動を苦手とする児童もあり、マット運動においても個々の技能の差が現れると考えられる。

(3) 指導観

児童の意欲や技能を高めるために、第一に児童の技能の実態を正しく把握し、その実態に合わせた課題や練習計画、練習方法を考えていくことが大切である。そのために、指導者として、児童のつまづきをすぐに発見できる目を磨き、それぞれの技の技術ポイントをしっかりと理解していきたい。

学習を通しては、一つ一つの技が正確にでき、次に、できるようになった技を繰り返したり、組み合わせたりしながら発展させていきたい。また、技ができたときの達成感や充実感、さらに、新しい技へ挑戦する楽しさなども感じさせながら、意欲的にマット運動に取り組ませていきたい。子供たちには、自分の力に合っためあてを持たせ、そのめあてを達成するために必要な練習の場を自分で選べるようにさせたい。そして、それぞれの個の技能の差に応じた学習が展開できるようにしたい。

以上のことを踏まえ、本単元を進めるに当たり特に次のことに留意して指導していきたいと考えている。

○模範となる映像の工夫

○場の工夫

○課題の設定の仕方及び子供たちのめあての持たせ方

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてに向かって、意欲的に学習に取り組むことができる。 ・お互いに協力し、教え合い、励まし合いながら学習することができる。 ・場の安全を確かめ、安全に留意して運動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力に合っためあてをもって取り組み、マット運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・互いに協力して運動し、教え合い励まし合って運動しようとする。 ・約束を守って安全にマット運動をしようとする。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・技のポイントや課題について考え、自分の力に合っためあてをもつことができる。 ・自分のめあてを達成するために、必要な練習の場を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力を知り、もう少しでできそうな課題を設定する。 ・課題解決に向けて、練習の仕方を工夫するとともに必要な練習の場も選ぶ。
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・技のポイントを理解し、正確にできる。 ・自分に合った技を選び、繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した技に取り組み、ある程度正確にできるようにする。 ・自分に合った技を選び、繰り返したり、組み合わせたりする。

4 指導計画・評価計画（7時間扱い）

時	学 習 内 容	関 ・ 意	思 ・ 判	技 能	判 断 基 準 (B)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・5年生での技の復習 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動に関心を持ち、進んで取り組もうとする。 (関) 映像で紹介して ・単元のねらいや道筋を理解し、学習の進め方に見通しをもっている。(思)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・技の練習 (課題 ①) 				<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力に合った課題に取り組み、マット運動の楽しさや喜びを味わおうとする。(関) ・課題解決に向けて、適切な練習の場を選んだり、練習の仕方を工夫している。(思)
3	<ul style="list-style-type: none"> できる技をさらに上手にしたり、新しい技に挑戦したりしてみよう。 	○	○		
4 本時	<ul style="list-style-type: none"> 前転、後転、開脚前転、跳び前転、倒立前転、開脚後転、伸膝後転、側方倒立回転、倒立(補助をして)など 				
5					
6	<ul style="list-style-type: none"> ・技の組み合わせ (課題 ②) 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した技に取り組み、正確にできる。 (技) ・自分に合った技を選び、繰り返したり、組み合わせたりすることができる。(技)
7	<ul style="list-style-type: none"> 自分ができる技を選び、繰り返したり、組み合わせたりしてみよう。 				

※2, 3, 4, 5時間目では、教師が意図した技を練習させ、効果的に指導をしたい。児童が練習する技については、実態に合わせて決めていくものとする。

5 本時の指導 (4/7)

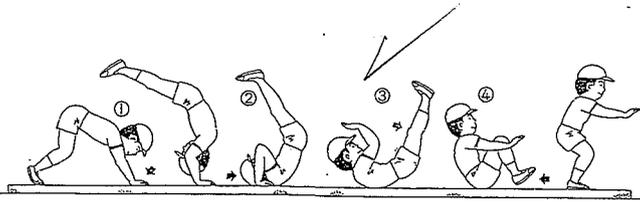
(1) 目標

- ・自分にめあてに向かって、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・課題解決に向けて、練習の仕方を工夫するとともに必要な練習の場も選ぶことができる。

(2) 展開

	学 習 内 容	学 習 活 動	教師の支援・評価(○)
はじめ 12分	1、整列、あいさつ 2、マットの準備	・全体で整列、あいさつし、マットの準備をする。	・みんなで協力してマットの準備をさせる。
	3、ストレッチ、準備運動 4、本時の課題の確認 できる技をさらに上手にしたり、新しい技に挑戦したりしてみよう。	・ストレッチ後、マット使って補助運動を行う。	・寒さが予想されるため十分に体を動かすようさせる。
なか 25分	5、練習する技の確認	・自分のめあてを決め、学習カードに記入する。	・2種類以上の技を練習するようにさせる。
	6、技の練習① 7、技の練習②	・自分のめあてに合った技を練習する。 ・違う技を練習する。	・技の確認のため映像を見せ、動きのイメージをさせる。 ・適切な練習方法や場の選択ができていない児童には助言する。 ・全体またはグループ内で共通のつまずきがあるときは、活動を止め教師の見本を入れながら指導する。
	前転、後転、開脚前転、跳び前転、倒立前転、開脚後転、伸膝後転、側方倒立回転、倒立(補助をして)など	前時までの児童の実態を見て、左の技から教師が6つくらいを選び、練習①、②に分けて練習する。	○自分の力に合った課題に取り組み、マット運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 ○課題解決に向けて、練習の仕方を工夫するとともに必要な練習の場も選ぶ。
まとめ 8分	8、学習の反省 9、次時の学習内容の確認 10、あいさつ、後片付け	・学習カードに自己評価をさせ、何人かに発表させる。	・自己評価をさせ、自分のできばえを確認させる。 ・みんなで協力して、マットの後片付けをさせる。

前 転



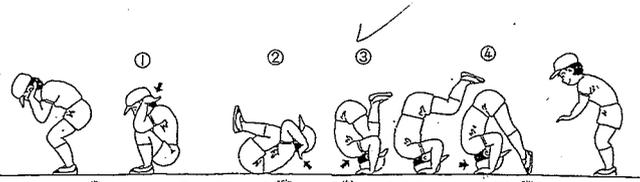
ポイント (全体に勢いをつけよう)

- ①両手をそろえる ②後頭部をつける ③膝を伸ばす ④かかとをひきつける

トータル評価: ◎よくできた ○できた △もう少し

月 日	部分評価 (できたところを塗ろう)				トータル評価
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	

後 転



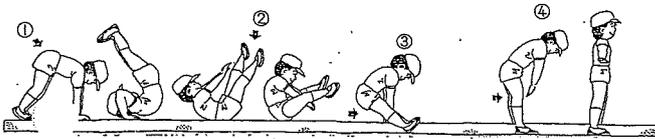
ポイント (全体に勢いをつけよう)

- ①手のひらを上に向ける ②勢いをつける ③背中を丸める ④両手で突き放して立つ

トータル評価: ◎よくできた ○できた △もう少し

月 日	部分評価 (できたところを塗ろう)				トータル評価
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	

開脚前転



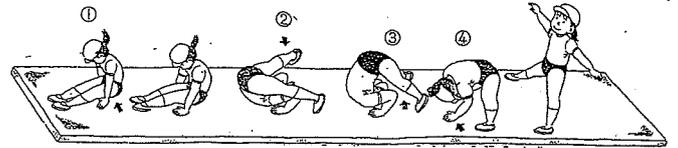
ポイント (全体に勢いをつけよう)

- ①腰を高くする ②腰がついたなら素早く足を開く ③勢いよく手のひら全体でつく ④膝を伸ばし、前へ体を突き出して立つ

トータル評価: ◎よくできた ○できた △もう少し

月 日	部分評価 (できたところを塗ろう)				トータル評価
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	

開脚後転



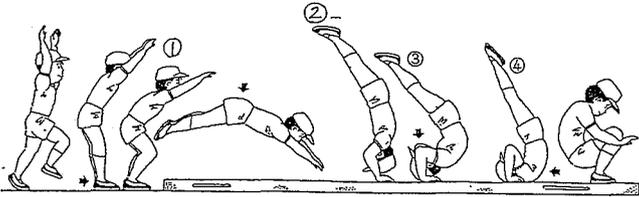
ポイント (全体に勢いをつけよう)

- ①かかめながら腰を引きおしりといっしょに手をつく ②足を大きく開く ③膝を伸ばす ④手で強く突き放す

トータル評価: ◎よくできた ○できた △もう少し

月 日	部分評価 (できたところを塗ろう)				トータル評価
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	
	①	②	③	④	

跳び前転



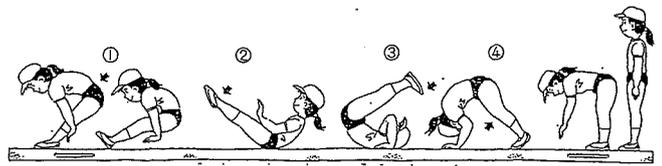
ポイント (全体に勢いをつけよう)

- ①跳び込むように踏み切る
- ②両腕でしっかり支える
- ③両腕の間に頭を入れる
- ④背中を丸めて立つ

トータル評価: ◎よくできた ○できた △もう少し

月日	部分評価 (できたところを塗ろう)	トータル評価
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	

伸膝後転



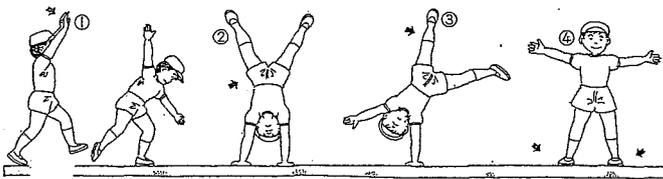
ポイント (全体に勢いをつけよう)

- ①かかめながら腰を引きおしりといっしょに手をつく
- ②足を速く引きつける
- ③膝を伸ばす
- ④手で強く突き放す

トータル評価: ◎よくできた ○できた △もう少し

月日	部分評価 (できたところを塗ろう)	トータル評価
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	

側方倒立回転



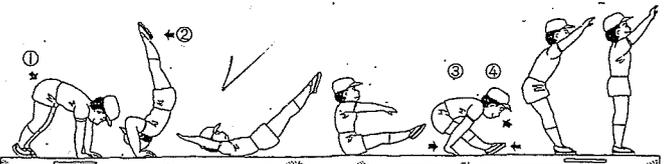
ポイント (全体に勢いをつけよう)

- ①手を高くあげる
- ②手と手の間を見る
- ③ひざと膝をのぼす
- ④手と足は一直線上に立つ

トータル評価: ◎よくできた ○できた △もう少し

月日	部分評価 (できたところを塗ろう)	トータル評価
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	

伸膝前転



ポイント (全体に勢いをつけよう)

- ①勢い良く踏み切る
- ②つま先の方を見る
- ③両手でマットを音が出るくらいたたく
- ④体を前にたおして立つ

トータル評価: ◎よくできた ○できた △もう少し

月日	部分評価 (できたところを塗ろう)	トータル評価
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	
	① ② ③ ④	